

世界史A，日本史A，地理Aの参考問題例の公表について

- 問題例は，試行調査の問題を作成した問題調査研究部会各科目ワーキンググループで作成し，問題作成方針分科会において点検を行った。
- 問題作成の方向性等は，平成30年6月18日に公表した「『大学入学共通テスト』における問題作成の方向性等と本年11月に実施する試行調査（プレテスト）の趣旨について」において，世界史B，日本史B，地理Bの問題作成方針や問いたい力として示した方向性等に準じて作成した。
- 各科目の大問数は，大学入試センター試験と同程度の4～5問を想定し，その中から，大学入学共通テストのねらい等を踏まえ，次のような特徴を持つ大問を各2問作成し問題例として公表することとした。
 - 【世界史A】

大学入学共通テストにおいては，近現代を中心とした世界の歴史を大観し，社会の変化を取り上げて概念と結び付けるなどの考察を重視する方向性であることを踏まえ，世界の歴史の大きな枠組みと展開や近代における世界の動向と日本とのかかわりを多面的・多角的に考察する問題とした。
 - 【日本史A】

大学入学共通テストにおいては，テーマ性の高い問題，時代区分に沿った問題や探究活動の過程を重視する方向性であることを踏まえ，生徒の視点や生活感覚に即した題材や現代の日本と世界についての課題をテーマとし，多面的・多角的に考察する問題とした。
 - 【地理A】

大学入学共通テストにおいては，現代世界の特色と諸課題や生活圏の諸課題の地理的な考察を重視する方向性であることを踏まえ，日常生活や地球的規模の諸課題について，地理的技能及び地理的な見方や考え方を働かせて考察する問題とした。
- なお，地理歴史科を含む各教科・科目の問題作成方針については，2019年度に大学入試センターから発出される通知において公表する予定である。

世界史 A

参考問題例

問題例 1 世界史Aを学び終えたあるクラスで，教科書の目次を参照しながら，班ごとに振り返り学習を行った。それぞれの班の活動に関する下の問い(問1～4)に答えよ。

目 次

世界史へのいざない	第4章 変貌するアジアと近代の日本
第Ⅰ部 世界の一体化と日本	(1) ヨーロッパの東方進出と西アジア …H
第1章 ユーラシアの諸文明	(2) 南アジア・東南アジアの植民地化 …I
(1) 前近代の諸文明とその特質 …A	(3) 東アジアの変容と日本の動向 …J
(2) 陸と海の交流と結びつき …B	第Ⅱ部 地球社会と日本
第2章 一体化に向かう世界と日本	第5章 世界戦争の時代
(1) 大航海時代と繁栄するアジア …C	(1) 帝国主義諸国と世界分割 …K
(2) ヨーロッパの ア と大西洋 …D	(2) 第一次世界大戦と ウ …L
第3章 欧米の工業化とナショナリズム	(3) 世界恐慌から第二次世界大戦へ …M
(1) 産業革命と資本主義社会の到来 …E	第6章 大戦後の世界と現代社会
(2) ヨーロッパ・アメリカの諸革命 …F	(1) 冷戦と第三世界の登場 …N
(3) 自由主義と イ …G	(2) 多極化の進展と冷戦の終結 …O
	(3) 現代の世界と <u>地域紛争</u> …P
	第7章 持続可能な社会への歩み

問 1 水谷さんの班は、各項目(目次中の A～P)で学習した内容をカードにまとめた。

次の 3 枚のカードは、D、G、L の項目の学習内容の一部をまとめたものである。

このカードを参考にして、目次中の ア ～ ウ に入れるのに適当な語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

D ローマ教皇や皇帝の権威が衰え、領土内を排他的に統治する国家同士が対等に並び立つ国際関係が形作られた。

G ヨーロッパ各地で、革命や改革を通じて、市民の政治的権利の拡大や、共通する言語や文化のまとまりを単位とした国家の建設を求める動きが進んだ。

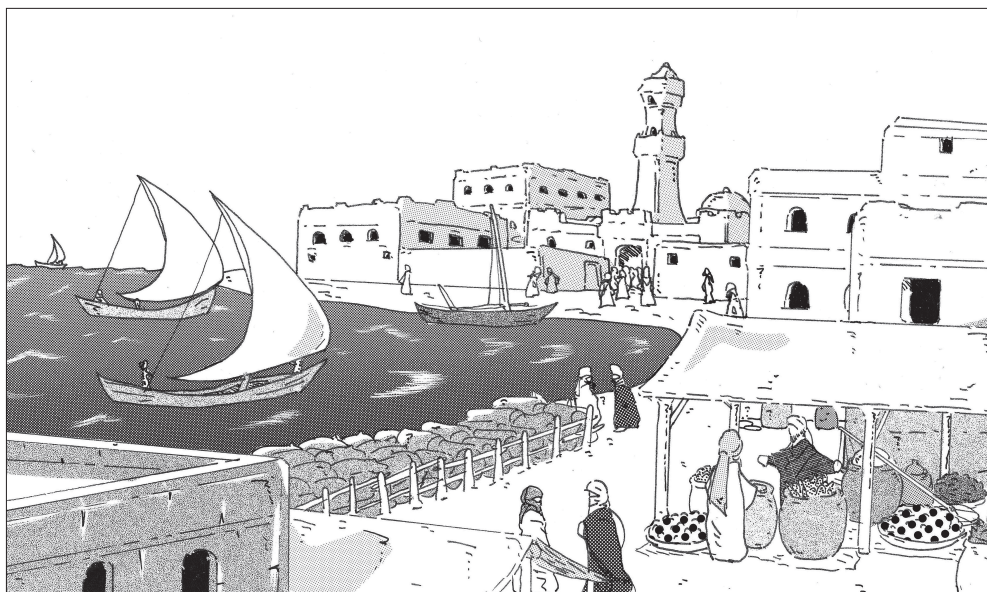
L ヨーロッパでは、いくつかの帝国が解体し、東欧などに新たな国家が成立した。アジアでは、植民地支配からの独立運動が高揚した。

- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| ① | アー 国民国家 | イー 主権国家 | ウー 民族自決 |
| ② | アー 国民国家 | イー 民族自決 | ウー 主権国家 |
| ③ | アー 主権国家 | イー 国民国家 | ウー 民族自決 |
| ④ | アー 主権国家 | イー 民族自決 | ウー 国民国家 |
| ⑤ | アー 民族自決 | イー 国民国家 | ウー 主権国家 |
| ⑥ | アー 民族自決 | イー 主権国家 | ウー 国民国家 |

問 2 井上さんの班は、教科書中でそれぞれの時代を特徴付けている発明や貿易品についてのコラムを調べ、題目を書き出した。コラムの題目と、その教科書中の項目(目次中の A～P)との組合せとして適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- | | | | |
|---|-------------------------------|---|---|
| ① | コラム「ゴム：プランテーションの展開とモノカルチャー経済」 | … | I |
| ② | コラム「綿織物：流行の舶来品から機械による国産化へ」 | … | E |
| ③ | コラム「戦略物資としての石油と国際政治・国際経済」 | … | H |
| ④ | コラム「人工衛星と東西二大国の宇宙開発競争」 | … | N |

問 3 速水さんの班は、ある港市の様子を描いた次のイラストを用いて、教科書で学んだ内容の補足説明をすることにした。説明文中の空欄 **工** と **オ** に入れる語句と、 **カ** に入れる教科書中の項目(目次中の A～P)との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **3**



説 明

これは、第1章で学習した **工** の、インド洋海域のある港市の様子です。中央の塔のある建物は、一神教の礼拝所です。信徒には、1日5回の礼拝が義務付けられています。この海域では、港に描かれている **オ** が、海上交通で主に利用されました。市場には香辛料が描かれています。 **カ** の時代には、香辛料の原産地を目指すヨーロッパ船が、この海域に来航するようになりました。

- ① エー「ローマの平和(パクス＝ロマーナ)」の時代
 オーダウ船 カー C
- ② エー「ローマの平和(パクス＝ロマーナ)」の時代
 オージャンク船 カー J
- ③ エームスリム商人が活躍した時代
 オーダウ船 カー C
- ④ エームスリム商人が活躍した時代
 オージャンク船 カー J

問 4 本多さんの班は、目次中の項目 P の内容について振り返り、項目名に下線部 地域紛争が含まれている理由について意見を出し合った。理由を述べた意見として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 資本主義と社会主義のイデオロギー対立が激化し、独立運動や国家建設に影響を与えているから。
- ② 大戦での敗戦国が、武力を用いて戦後秩序の解体と勢力圏の拡大を推し進めているから。
- ③ グローバル化の進展に反発し、宗教や民族意識をよりどころとして対抗する動きが生じているから。
- ④ 列強と呼ばれる国々が植民地を拡大した結果、各地で利害が衝突し、緊張が高まっているから。

問題例 2 次の資料 1・2 は、岩倉使節団(1871～73)の一員であった久米邦武の欧米の国々に関する見聞を記したものである。久米の見聞に関する下の問い(問 1～3)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

資料 1

おおやけ 公の権威が軽く、そのため法規制の効果が上がりにくく、それぞれが自分の権利を主張し、…党派を立てて争いがちなところがあるということである。とはいえ、**ア**人はすでにこの風潮にどっぷりと長く浸っていて、民主主義に徹しているのに、いまさら君主政治によって安定を求めるようなまねはできない。しかし、この風潮が他国に及ぶと君民の間に摩擦が生じ、これまでの基本的法制度が否定されるようになって、その国の基本構造が揺り動かされつづけることになる。フランスが最初にこの悪影響を受け、スペインもその後、その害を被^{こうむ}るようになった。

資料 2

イは貿易が盛大で世界の大市場と言われる。…四方が海に囲まれているので、貿易にとっての天然の障害はなく、良い港がたいへん多い。…この国の貿易品の主な物は鉄や石炭であって、…その鉄や石炭を機械や蒸気エネルギーに換え、さらに風力や水力も使って工業生産を行い、**ア**の綿花、インドの麻、西インドの粗糖がこの国に入ってきて、さまざまな織物や精糖に変化して世界中に広がっていくのである。

問 1 資料 1・2 中の空欄 **ア** と **イ** に当てはまる国名と，岩倉使節団を派遣する前の日本が **ア** や **イ** と結んだ条約について述べた文 a・b との組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

日本が **ア** や **イ** と結んだ条約

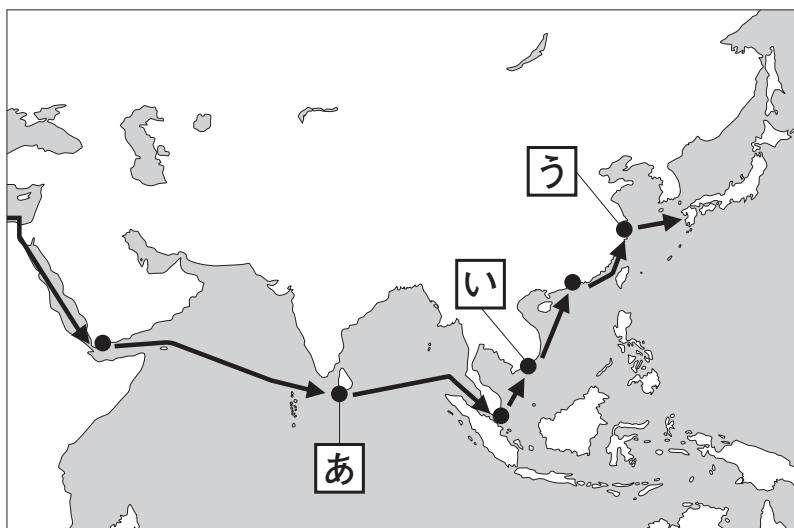
- a フランスを加えて，太平洋地域の現状維持などを取り決めた。
- b 領事裁判権や関税自主権に関して，日本に不利な不平等条約であった。

- ① **ア**ーアメリカ **イ**ーイギリス 条約ー a
- ② **ア**ーアメリカ **イ**ーイギリス 条約ー b
- ③ **ア**ーイギリス **イ**ーアメリカ 条約ー a
- ④ **ア**ーイギリス **イ**ーアメリカ 条約ー b

問 2 資料 1 中に「フランスが最初にこの悪影響を受け」とあるが，久米はどのような状況を指してこのように述べたと考えられるか。考えられる事柄について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- ① 政体が，王政・共和政・帝政の間で次々と変化したこと。
- ② 革命によって一党独裁が敷かれ，農業の集団化が強行されたこと。
- ③ 信仰に対する寛容政策を廃止したため，多くの商工業者が国外に亡命したこと。
- ④ 統一国家の建設が求められながら，統一の方式をめぐる対立が続いていたこと。

問 3 岩倉使節団は、欧米諸国を視察した後、次の地図に示したような航路で日本に帰国した。地図中の●は使節団の寄港地であり、資料3・4はそのうちの2か所の港に関する見聞として久米が記したものである。資料3・4と寄港地あ〜うの組合せとして正しいものを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。 3



資料3

外国貿易のために開港した港の中で最も繁盛しているところである。輸出の主なものは茶と生糸で、それに次いで砂糖、綿花が多い。輸入はアヘン、塩漬けの魚、海草、石炭、それに綿織物等。

資料4

いまはフランスの植民地となったので、定期航路の港ではないのであるがフランス政府が船会社に年800万フランの金を渡してここに寄港させ、この地域の輸送の便を図るとともに、植民の便を図っている。

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| ① 資料3 — あ | 資料4 — い | ② 資料3 — あ | 資料4 — う |
| ③ 資料3 — い | 資料4 — あ | ④ 資料3 — い | 資料4 — う |
| ⑤ 資料3 — う | 資料4 — あ | ⑥ 資料3 — う | 資料4 — い |

世界史A 参考問題例正解

問 題 番 号	設 問	解答番号	正 解
問題例1	1	1	3
	2	2	3
	3	3	3
	4	4	3
問題例2	1	1	2
	2	2	1
	3	3	6

【世界史 A（問題例）】

問題のねらい，主に問いたい資質・能力及び小問の概要等

問題例 1 問題のねらい

教科書の目次を想定した題材を基に，地域・文明間の接触や交流，近代以降の国家体制や国際関係の展開を，概念と結び付けて理解する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(2) 世界の一体化と日本 イ 結び付く世界と近世の日本 ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 (3) 地球社会と日本 イ 世界戦争と平和	近世から近代までの主としてヨーロッパの国家体制等に関わる概念や事象についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して，歴史的事象の展開について考察することができる。（推移や変化）	目次中の空欄に該当する国家体制等に関わる概念を，カードの記述を参考にして考察する。
問 2	2	(2) 世界の一体化と日本 ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 エ アジア諸国の変貌と近代の日本 (3) 地球社会と日本 ウ 三つの世界と日本の動向 エ 地球社会への歩みと課題	近代以降，現代に至るまでの，それぞれの時代の特徴と，それと密接に関係するモノについての理解	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる。（事象相互のつながり）	各時代の特徴と，それと密接に関係する発明や貿易品との結び付きを，目次の項目名から判断する。
問 3	3	(2) 世界の一体化と日本 ア ユーラシアの諸文明 イ 結び付く世界と近世の日本	アジア・アフリカにおける海域交流の地域的特色についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	アジア・アフリカにおける海域交流の地域的特色をとらえ，文化の特徴や時期的変遷を，目次の項目名と照らし合わせて判断する。
問 4	4	(3) 地球社会と日本 イ 世界戦争と平和 ウ 三つの世界と日本の動向 エ 地球社会への歩みと課題	近現代の国際関係の特徴とその変遷についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。（諸事象の比較）	現代の地域紛争の特色や背景を，近現代の国際関係の変遷の中でとらえる。

問題例 2 問題のねらい

明治初期の日本人が欧米社会に関して記した資料を基に、近代の政治的・経済的な動向とその特質を的確にとらえたり、欧米列強の対外進出によって変貌する近代のアジアの実態を考察したりする力を問う。

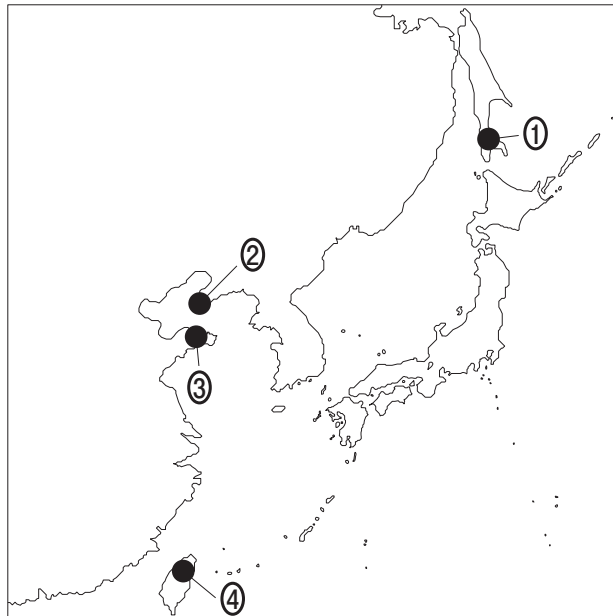
	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(2) 世界の一体化と日本 ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 エ アジア諸国の変貌と近代の日本 (3) 地球社会と日本 イ 世界戦争と平和	近代の欧米社会の政治的・経済的な特色と、当時の欧米諸国と日本との関わりについての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	資料の読解を通して、近代の政治及び経済における新たな潮流の先駆となった国名を推察し、それらの国々と日本との19世紀後半における外交関係を考察する。
問 2	2	(2) 世界の一体化と日本 イ 結び付く世界と近世の日本 ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 (3) 地球社会と日本 イ 世界戦争と平和	近現代における欧米の政治体制や政治思想の特色についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	資料の著者が意図する事柄を文脈の中でとらえ、それと合致するフランスの政治的状況を判断する。
問 3	3	(2) 世界の一体化と日本 エ アジア諸国の変貌と近代の日本	列強の対外進出がもたらした19世紀後半のアジアの状況についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	資料の読解を通して、二つの海港都市を推測し、地図上で与えられた条件の中で、それぞれの位置を判断する。

日 本 史 A

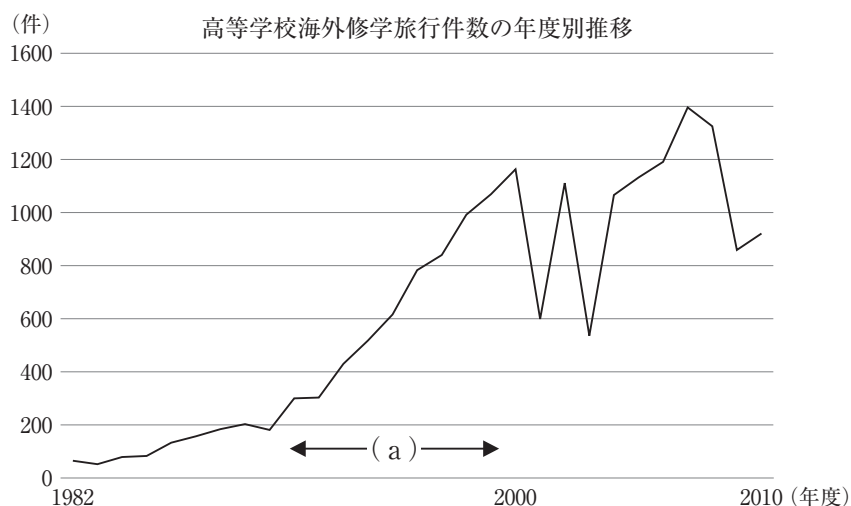
参 考 問 題 例

問題例 1 日本史Aの主題学習で「わが校の修学旅行から日本の歴史を探る」と題して発表することとなった。Aさんたちは、それぞれ図や年表を作成して、修学旅行の歴史を振り返ることとした。Aさんたちの活動に関する下の問い(問1～5)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

問 1 Aさんたちは、図書館で『学校誌』を調べ、わが校が明治時代に東アジア方面への修学旅行を実施していたことを知った。その地域は、日露戦争後にロシアから租借権を譲られ、清国もそれを認めた地域であった。わが校が訪問した先を、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 1



問 2 修学旅行で海外コースを選択した A さんは、海外への修学旅行件数の変化を示した次のグラフを調べてみた。下の発表原稿の空欄 **甲** に入る文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **2**



(『日本修学旅行協会 教育旅行年報データブック 2017』より作成)

発表原稿

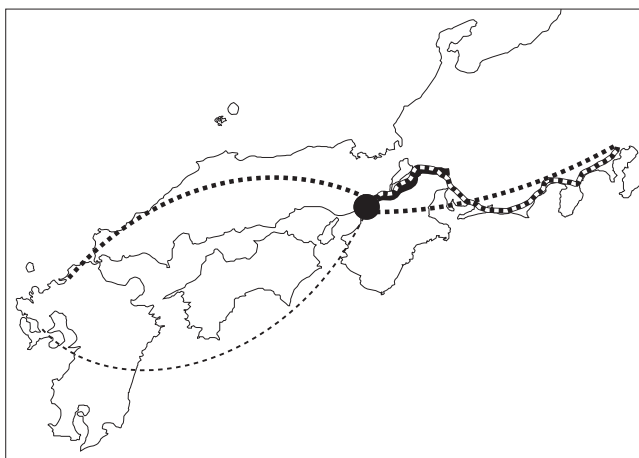
海外修学旅行は、多くの学校で実施されているようです。このグラフにおける海外修学旅行の件数の増減は、国際情勢や国際経済が関係していると考えられます。グラフ中の(a)の時期には、**甲**ということもあり、海外修学旅行が増加した背景の一つとしてとらえられます。

- ① 高度経済成長が続き、所得が増加した
- ② 郵政民営化などが進み、景気も回復し円安の状況に転じた
- ③ バブル経済が崩壊し不況となったが、円高が継続した
- ④ 石油危機の影響で、航空機燃料の価格が高騰した

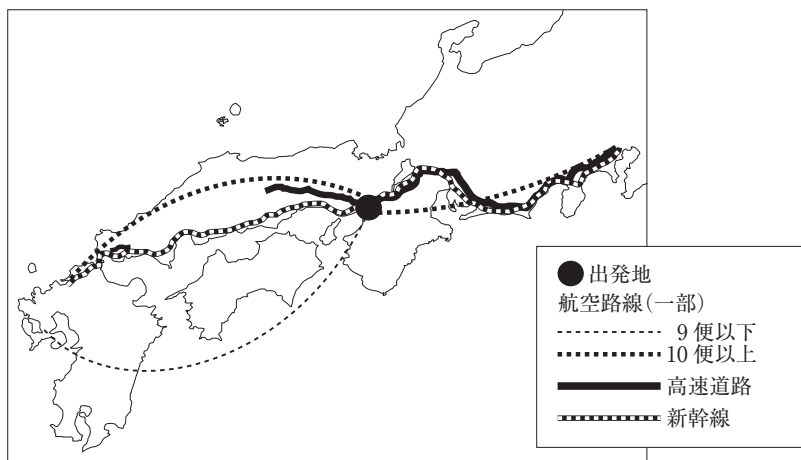
問 3 卒業アルバムを調べていたBさんは、関西地方にあるわが校の修学旅行先が、資料1の時期は関東地方であったが、その後資料2の時期には九州地方へと変化していることに気付いた。Bさんは、この変化の背景のひとつには大量輸送機関の発達があると考えた。資料1・2を根拠とした仮説として最も適当な文を、下の①～④のうちから一つ選べ。

3

資料1



資料2



- ① 高速道路が延びており、モータリゼーションの影響があったのではないか。
- ② 新幹線が延びており、移動時間が短縮した影響があったのではないか。
- ③ 航空路線の便数が増加し、その利用が一般化した影響があったのではないか。
- ④ 国鉄(日本国有鉄道)が民営化され、旅客サービス向上の影響があったのではないか。

問 4 旅行が好きな Cさんは、ある旅行会社のホームページ上に掲載されていた次の資料に注目した。資料中の修学旅行が行われていた時期を年表中の a・b から選び、それと空欄 **乙** に入る語ア・イとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

資料

本社の創立当初は……日本本土に行く場合でもパスポートが必要な時代でした。……

昔は船の旅が主で、修学旅行にしても福岡、大阪、東京と回る長旅で 15 日間から長いときで 25 日間の旅でした。もちろん生徒は小遣いをドルでしかもっていないので添乗員が日本円へ両替して渡したものでした。……航空便も飛んでいたのですが……運賃は片道 81 ドル。 **乙** の時代で、大卒の初任給が 20～27 ドルでしたのでかなり高価な乗り物だったと思います。

年表

年	できごと
1952	日本本土の主権回復 a
1971	沖縄返還協定の締結
1972	沖縄返還の実現 b
2000	九州沖縄サミットの開催

ア 変動為替相場制

イ 固定為替相場制

- ① a — ア ② a — イ ③ b — ア ④ b — イ

問 5 鉄道ファンのDさんは、同窓会報で修学旅行が取りやめられていた時期があったことを知った。その理由として載せられていた次の資料の時局を説明するために下の図(駅弁の掛け紙)を活用した。Dさんが使うのに適当でない図を、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

資料

「生徒児童の旅行について」

……現在の鉄道や自動車による貨物・旅客の輸送がひっ迫していることや物資消費の規制がなされていることから、なお一層、貨物輸送を強化することや物資消費を抑制する必要がある。このような状況であるので、各学校の旅行は当分の間は次に示すように調整し、生徒児童を率先して時局に対応させる方針で次のように処理するように……

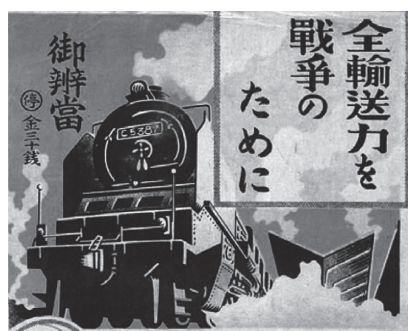
図 ①



②



③



④



問題例 2 生徒会で日本赤十字社の募金を始めることになったFさんたちは、日本の人道支援や国際貢献の歴史について考えるために次の年表を作成した。年表を参考に、下の問い(問1～6)に答えよ。

年表

年	世界と日本のできごと	日本の人道支援・国際貢献
1860	国際赤十字社設立	
1870	A	博愛社(日本赤十字社の前身)設立…①
1880		
1890	日清戦争	} 日本赤十字社による救護
1900	日露戦争	
1910	第一次世界大戦	
1920	国際連盟設立	国際連盟に加盟…②
1930		
	第二次世界大戦	
1940	国際連合設立	
1950		国際連合に加盟
1960	OECD(経済協力開発機構)発足	DAC(OECD 開発援助委員会)に加盟…③
1970	国境なき医師団設立…④	
1980		
1990	国連環境開発会議(地球サミット)開催…⑤	国際平和協力法(PKO 協力法)制定…⑥
2000	先住民族の権利に関する国際連合宣言…⑦	
2010		

問 1 年表中㉖について、Fさんたちは博愛社の設立はこの時期に起こった A
と関係があると気付いた。このできごとを説明した文章として正しいものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 特権を奪われたかつての支配階級が、その不満を背景に政府と激しく対立した。
- ② 帝国主義列強間の覇権争いにより、多くの国を巻きこんだ総力戦が4年続いた。
- ③ 中国での排外運動をきっかけに、朝鮮半島・満州をめぐる対立が激化した。
- ④ 南満州鉄道の線路の爆破をきっかけに、日本が軍事行動を開始した。

問 2 年表中㉗について、Fさんたちは国際連盟の評価について、次の2つの見方があることに気付いた。見方とその根拠となる情報の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

見方

- X 国際連盟は国際秩序を維持する機関として肯定的に評価できる。
- Y 国際連盟は国際秩序を維持する機関としては肯定的に評価できない。

根拠(a～dは事実である)

- a 委任統治領のしくみにより大国間の利害を調整した。
- b 当初の常任理事国は英・仏・日・伊4か国のみで構成された。
- c 紛争に際して加盟国は連盟に提訴することができた。
- d 国際連盟から脱退する国もあった。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問 4 Fさんたちは、年表中㉔の国境なき医師団が設立された時期は、世界と日本にとって大きな画期であると考えた。次の「画期とみなした理由」とは結び付かないできごとを、下の①～④のうちから一つ選べ。

4

「画期とみなした理由」

- ・日本に大きな影響を与えていたアメリカの方針が転換したから。
- ・国民の健康被害など社会生活上の問題に対して、政府が総合的に取り組むようになったから。
- ・高度経済成長が終わることとなったから。

① 環境庁の設置

② 日中国交正常化

③ 日本万国博覧会の開催

④ 第一次石油危機

問 5 年表中㉔・㉕について、Fさんたちは、教科書や資料集から写真甲・乙を見
つけ、その説明を考えた。説明X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下
の①～④のうちから一つ選べ。 5

甲



京都議定書が採択された会議

乙



カンボジアで支援する自衛隊

X 甲は、地球温暖化の抑止のため、国際協力のひとつとして、温室効果ガス
排出削減目標を定めた時の写真です。

Y 乙は、冷戦終結後の地域紛争に対応するため、国連決議に基づいた活動に
日本も参加するようになった時の写真です。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 6 年表中⑧について、国内でも少数民族の文化を尊重することが求められている。この経緯を歴史的に説明した次の説明文の空欄 ・ に入る文の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

説明文

1869 年に蝦夷地は北海道と改称され、 が設置された。政府はアイヌを旧土人と呼称し、1899 年には日本語の使用を義務付けるなどの法律を定め同化政策を進めた。この法律は、1997 年に が制定されたことにより廃止された。2008 年には、アイヌを先住民族と認める国会決議が行われた。

- a 鉄道や鉱山の経営を行う国策会社
- b 土地の開発や産業振興を進める役所
- c アイヌ文化を振興するなど民族としての誇りが尊重されることを目的とした法律
- d アイヌ民族に農業への従事を勧めるなど民族を保護することを目的とした法律

- | | |
|------------------|------------------|
| ① アー a イー c | ② アー a イー d |
| ③ アー b イー c | ④ アー b イー d |

日本史A 参考問題例正解

問 題 番 号	設 問	解答番号	正 解
問題例1	1	1	2
	2	2	3
	3	3	2
	4	4	2
	5	5	2
問題例2	1	1	1
	2	2	2
	3	3	9
	4	4	3
	5	5	1
	6	6	3

【日本史 A】

問題のねらい、主に問いたい資質・能力及び小問の概要等

問題例 1 問題のねらい

修学旅行という身近な事象をテーマに、修学旅行の推移から社会の変化をとらえる構造とした。資料から情報を取り出し、時代の特徴をとらえたり、歴史的事象を多面的・多角的に考察したりする力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(2) 近代の日本と世界 ア 近代国家の形成と国際関係の推移 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	北東アジアで日本が得た海外権益についての理解		戦前の海外修学旅行が実施された時期と日本が海外権益を拡大する過程を踏まえて、地図上の位置をとらえる。
問 2	2	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	1980年以降の日本経済の推移についての理解 資料から情報を取り出す技能	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。 (事象相互のつながり)	海外修学旅行の増加の背景として、1990年代の日本経済の特徴をとらえ、公民科目で習得した知識と関連付けて考察する。
問 3	3	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	高度経済成長以降の交通の発達についての理解 資料から情報を取り出す技能	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。 (事象相互のつながり)	修学旅行の訪問先が変化したことについて、資料から取り出した情報からその社会的背景を考察する。
問 4	4	(3) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会	戦後の沖縄をめぐる状況と為替制度の変遷についての理解 資料から情報を取り出す技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	資料から取り出した情報をもとに、1950年以降の沖縄の歴史の展開をふまえ、国際経済のしくみの変化を考察する。
問 5	5	(2) 近代の日本と世界 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	国家総動員体制および戦時下の国民の暮らしについての理解 資料から情報を取り出す技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から取り出した情報と国家総動員体制に関連する知識とを関連付け、時代の特徴を考察する。

問題例 2 問題のねらい

日本の人道支援や国際貢献の歴史をテーマとして、資料から情報を取り出し、特徴をとらえたり、その特徴が生じた背景を考察したり、歴史的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察したりする力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(2) 近代の日本と世界 ア 近代国家の形成と国際関係の推移 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	明治時代以降に起こった内乱と対外戦争についての理解	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	西南戦争、日露戦争、第一次世界大戦、満州事変について、これらの事象が生じた原因や展開を踏まえ、1870年代の特徴を考察する。
問 2	2	(2) 近代の日本と世界 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	国際連盟についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	国際連盟に対する二つの相反する主張とその根拠を考察する。
問 3	3	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	ODAについての理解 資料から情報を取り出す技能	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	資料から各時期のODA実績の特徴をとらえ、その特徴が生じた背景を考察する。
問 4	4	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	1970年前後の国内外で起こった歴史的事象についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	1970年前後の画期性を示す歴史的事象の意味や意義を踏まえ、その原因や影響を考察する。
問 5	5	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	PKO活動および京都会議についての理解		日本のPKO活動への貢献、京都会議に関して、その経緯や内容をとらえる。
問 6	6	(3) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	明治時代以降の北海道、アイヌについての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	明治政府による北海道開拓の特徴と長い時間軸の中でアイヌに対する政策の変化を考察する。

地 理 A

参 考 問 題 例

問題例 1 現代社会における地理情報と地理的事象に関する次の問い A に答えよ。

A 地理情報の活用に関する下の問い(問 1～3)に答えよ。

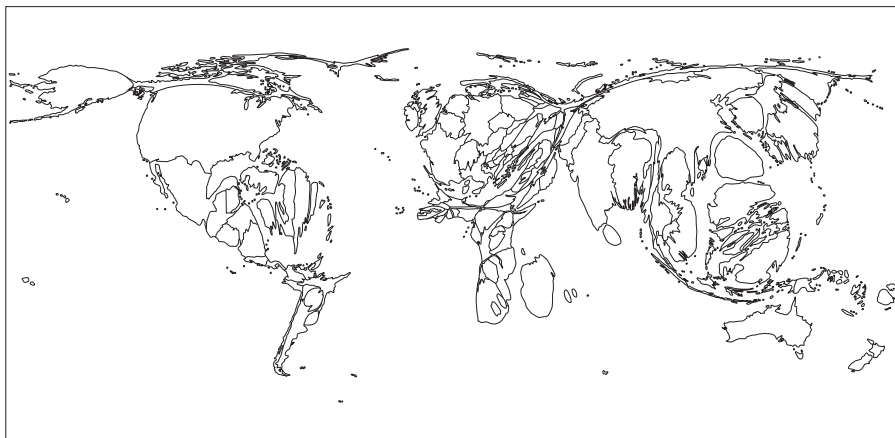
問 1 GIS(地理情報システム)を活用することで、さまざまな地図を作成し、利用できるようになった。次の図 1 は、2000 年から 2017 年の期間に世界で発生した自然災害*について、世界全体の発生件数に対する国・地域別の発生件数の割合をもとに作成した地図(カルトグラム)であり、発生件数の割合の高い国・地域ほど大きく描かれている。図 1 中のア～ウは、干ばつ、暴風**、林野火災***のいずれかによる自然災害について示したものである。自然災害名とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

1

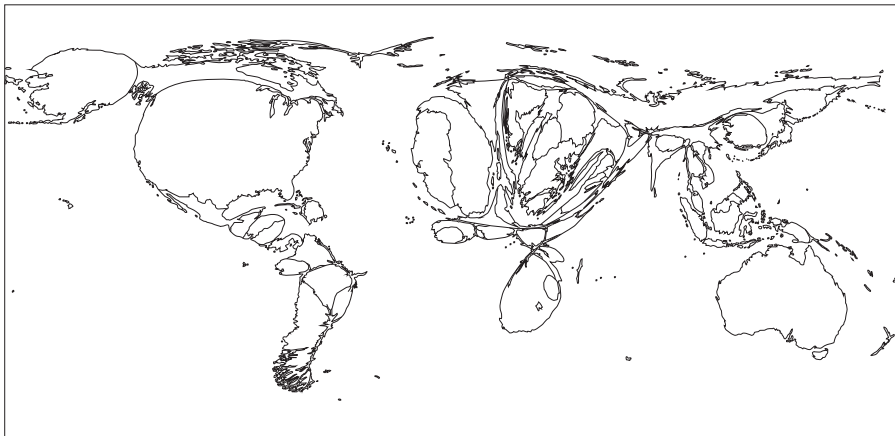
*自然現象に起因する災害で、10 名以上の死者、100 名以上の被災者、非常事態宣言の発令、国際援助の要請のいずれかに該当するもの。

**局地的な暴風、熱帯低気圧による暴風など。

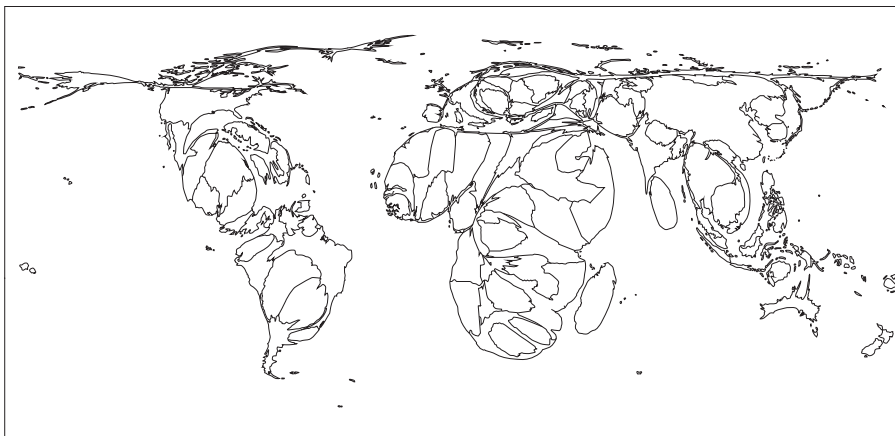
***疎林、森林、草地での火災など。



ア



イ



ウ

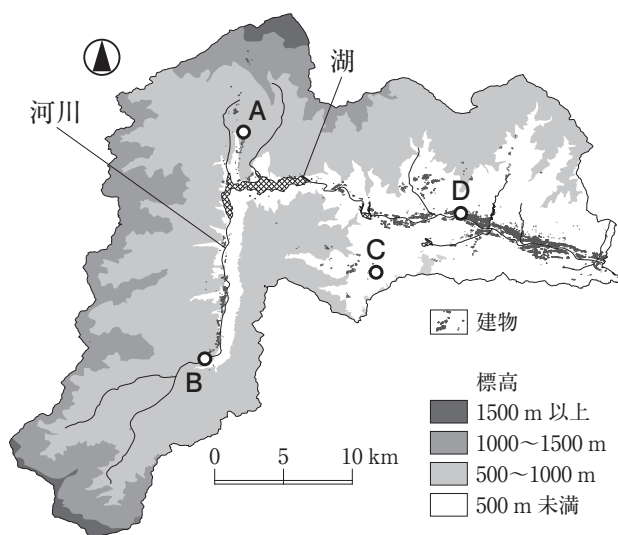
データの無い国・地域は、境界線・海岸線のみ示した。

Worldmapper の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
干ばつ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
暴 風	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
林野火災	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 シノさんたちは、次の図 2 に示された人口約 5,000 人の日本のある自治体における近年の地域課題について考えるために、GIS ソフトを用いて次ページの図 3 のようないくつかの地図を作成して話し合った。下の会話文中の空欄カとキに当てはまる図 2 中の地点 A～D の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 2



国土地理院の資料により作成。

図 2

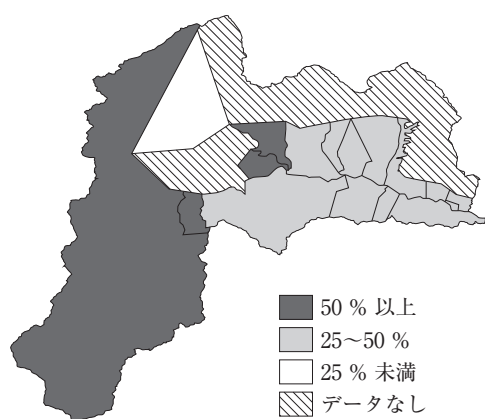
シノ 「地点(カ)は山間部で、年最深積雪量も 250 cm 以上とずいぶん多いね。
ここでは冬場の除雪が大変なのではないかな」

ケン 「他の地点と比べて医療機関が近くにならないのも心配だね。高齢者に対する冬場の除雪や通院の支援はどうなっているのかな」

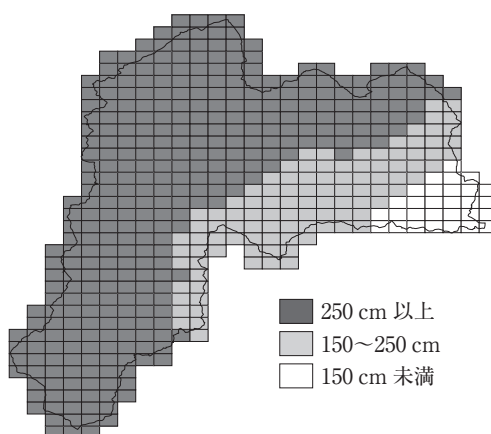
シノ 「地点(キ)は標高も低くて積雪量もあまり多くなく、高齢者の割合もそれほど高くないから、問題はないのかな」

ケン 「でも、この地点は土砂災害危険箇所指定されているよ。住宅も密集しているし、日ごろからの情報収集や避難訓練は欠かせないよね」

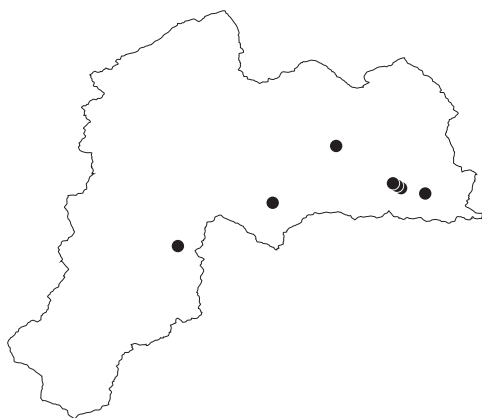
シノ 「なるほど。GIS を使っているいろいろな仮説が立てられたね。実際の状況については現地に行って確認しないといけないね」



地区別の老年人口率



1 km メッシュ別の年最深積雪量



医療機関の分布



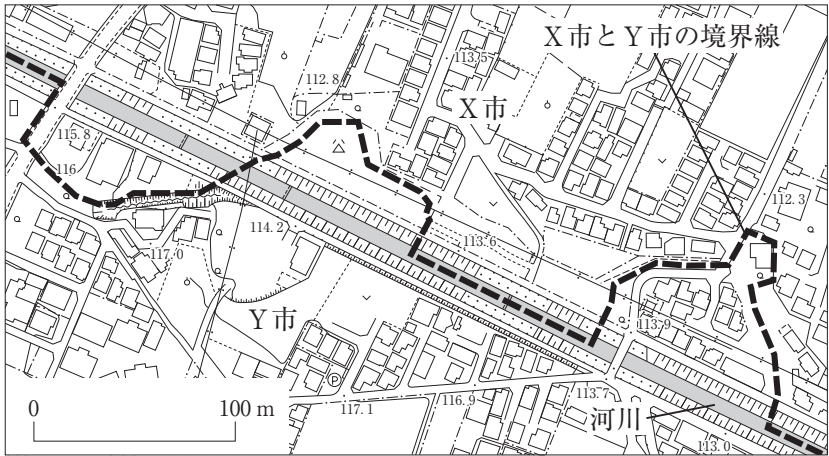
土砂災害危険箇所

国土地理院の資料などにより作成。

図 3

	①	②	③	④
カ	A	A	B	B
キ	C	D	C	D

問 3 次の図 4 は、大都市近郊の X 市と Y 市の境界付近を示した地図である。アキラさんたちが図 4 中の境界線について話し合った下の会話文中の空欄サとシに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3



自治体作成の地図より作成。

図 4

アキラ 「普通は河川に沿って境界線が引かれることが多いのに、なぜここでは河川をまたいで境界線に凹凸があるのだろう」

キヨミ 「もともと蛇行していた河川の サ ために流路を直線に改修したときに、境界線を変更しなかったのがこうなったのかもしれないね」

アキラ 「これでは隣の家どうしの住民間で、子どもの通う小学校が違ったり、
シ が違ったりしていそうだね」

スバル 「最近になって X 市と Y 市の間では住民も参加して協議を行い、境界線の変更が行われたそうだよ」

	サ	シ
①	はんらん 氾濫を防ぐ	ゴミ出しのルール
②	氾濫を防ぐ	利用する店舗
③	流速を下げる	ゴミ出しのルール
④	流速を下げる	利用する店舗

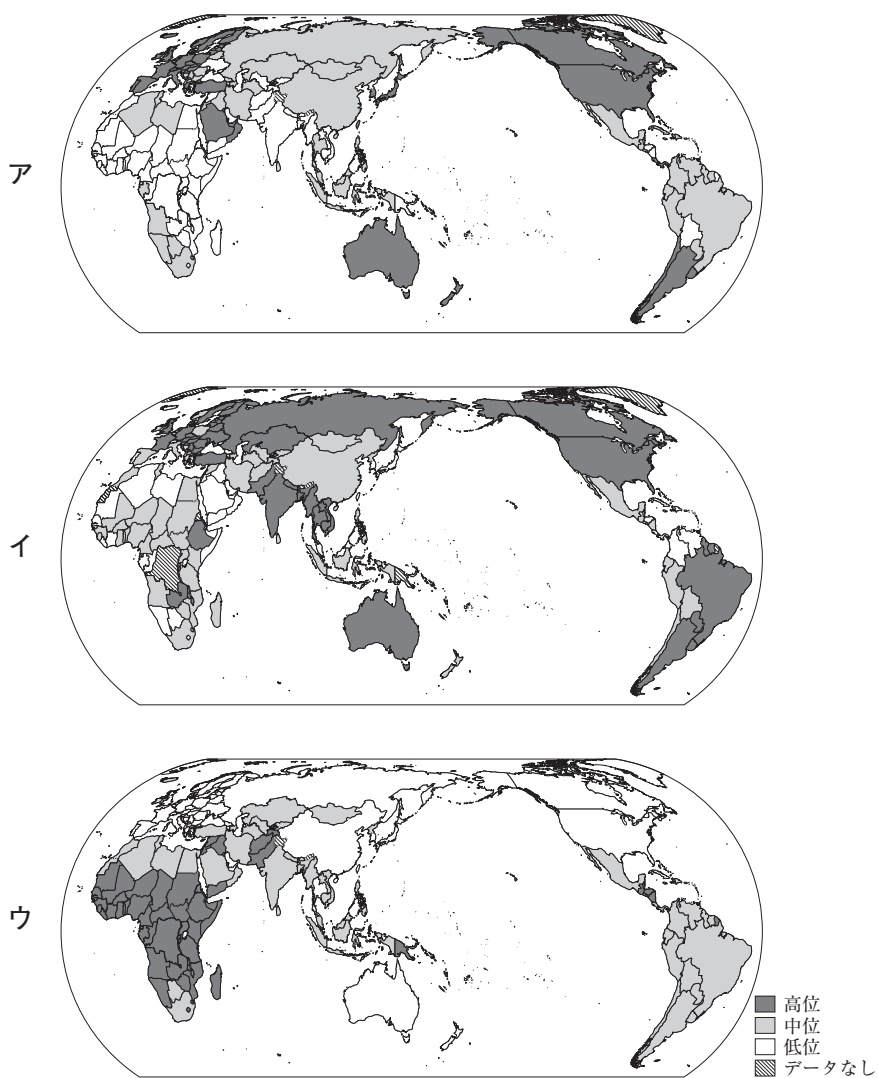
問題例 2 地理の授業で先生から図 1 のような持続可能な開発目標(SDGs)があることを聞いたヒロミさんたちは、グループに分かれていくつかの目標を取り上げ、「なぜ、その目標が必要なのか」を考察していくことにした。世界の持続可能な開発に関する下の問い(問 1 ～ 6)に答えよ。



国際連合の資料により作成。

図 1

問 1 ヒロミさんのグループは、図 1 中の「1 貧困をなくそう」と「2 飢餓をゼロに」について調べることにした。次ページの図 2 中のア～ウは、1 人当たり GNI(国民総所得)、穀物自給率、年少人口率のいずれかの指標について、国・地域別に示したものである。指標名とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 1



統計年次は1人当たりGNIが2016年，穀物自給率が2011年，年少人口率が2008～2016年のいずれか。『世界国勢図会』などにより作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
1人当たりGNI	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
穀物自給率	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
年少人口率	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 ヒロミさんのグループは、図 1 中の「2 飢餓をゼロに」に関連して、世界の 1 人当たり供給カロリーを調べ、国や地域により大きく異なることがわかった。世界の食料問題の実情や解決策について、グループで話し合った次の会話文中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 2

ヒロミ 「日本の食生活は豊かだと思っていたけど、世界では日本より供給カロリーが高い国がたくさんあるね。それなのに飢餓などに苦しむ国が存在するのはどうしてだろうね」

アケミ 「ひとつには、①経済発展によって世界の人々の食生活が変化し、飼料として穀物が大量に消費されることがあるのではないかな」

マサミ 「他には、②食べ残しや賞味期限切れの食料がたくさん捨てられているのに、必要な人々のところに食料が届いていないというのも問題だよね」

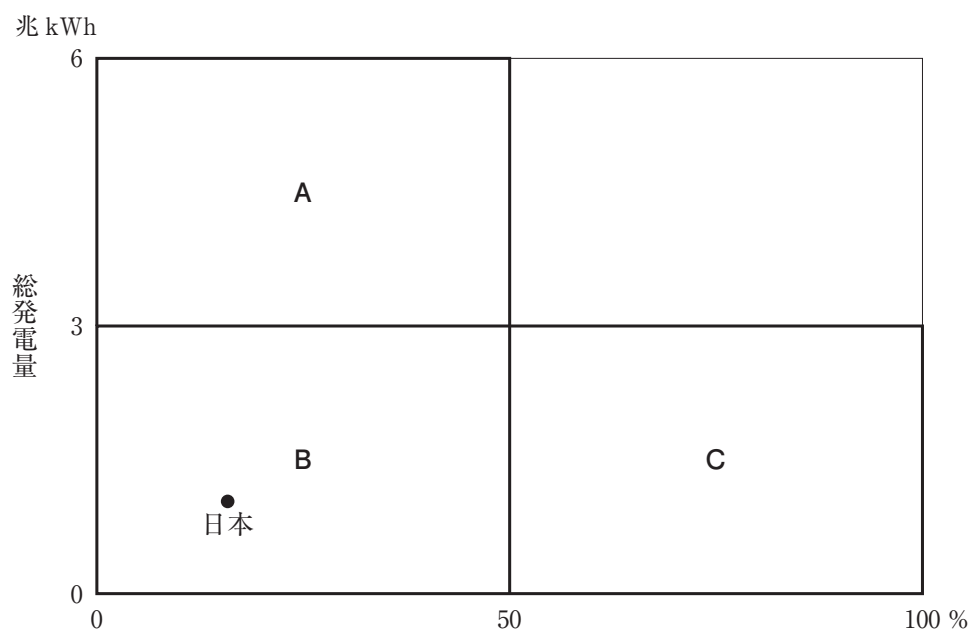
アケミ 「それに関して、③大量の穀物が食料不足の国に支援として送られることで、現地の農業生産が高まると思うよ」

マサミ 「先進国の中でも供給カロリーが高い国では、④カロリーのとりすぎは健康被害をもたらすとして、カロリーをおさえた食事が注目されてきているよね」

ヒロミ 「まずは、私たちも身の周りのことから食料問題の解決に向けて考えていく必要がありますよね」

問 3 ユウキさんのグループは、図 1 中の「7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに」について調べた。そこで、世界の再生可能エネルギーの推進について考えるため、国別の総発電量と総発電量に占める再生可能エネルギーの割合を示す図を作成したところ、再生可能エネルギー発電量上位 6 か国が次ページの図 3 中の A～C の各領域に分類できることがわかった。A～C と次ページの国家群カ～クとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

3



総発電量に占める再生可能エネルギーの割合

再生可能エネルギーは、水力(揚水水力を除く)、地熱、太陽光、風力、波力、潮力、バイオ燃料、可熱性廃棄物によるもの。

統計年次は 2015 年。『世界国勢図会』により作成。

図 3

カ アメリカ合衆国、中国

キ カナダ、ブラジル

ク インド、ドイツ

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 4 アキラさんのグループは、図 1 中の「15 陸の豊かさも守ろう」について調べることにした。次の表 1 は、世界の木材伐採量、木材伐採量に占める薪炭材の割合、製材輸入量を地域別に示したものであり、①～④は、アジア、アフリカ、オセアニア、南アメリカのいずれかである。南アメリカに該当するものを、次の表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

4

表 1

	木材伐採量 (千 m ³)	木材伐採量に占める 薪炭材の割合(%)	製材輸入量 (千 m ³)
①	1,115,559	64.8	56,624
②	746,004	90.2	9,469
ヨーロッパ	745,924	20.9	39,886
北・中央アメリカ	661,504	20.8	33,798
③	392,047	42.1	183
④	75,939	13.1	888

統計年次は 2016 年。『世界国勢図会』により作成。

問 5 各グループの発表を聞いたカズミさんは、図 1 中の目標とその背景になっている地球的課題が相互に関連していると考え、図にまとめることにした。次ページの図 4 は、カズミさんが作成中の図であり、図 4 中の E～G には、資源・燃料の消費拡大、食料不足、人口爆発のいずれかの地球的課題が当てはまる。地球的課題と E～G との最も適当な組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

5

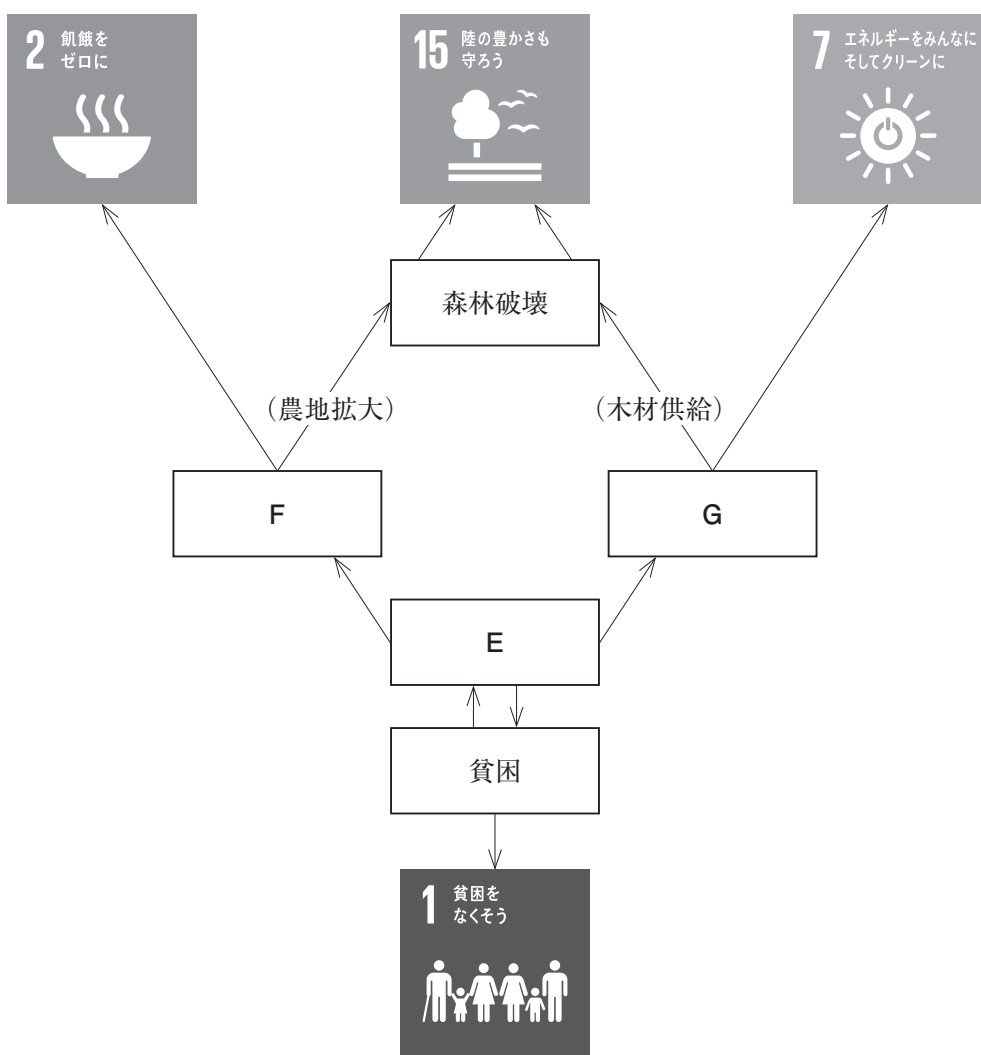


図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
資源・燃料の消費拡大	E	E	F	F	G	G
食料不足	F	G	E	G	E	F
人口爆発	G	F	G	E	F	E

問 6 ヒロミさんは、これまでの学習を通して、地球的課題の解決や持続可能な開発を目指して行われている活動について関心をもった。そこで、それらをインターネットで調べてまとめ、事例として紹介することにした。ヒロミさんが紹介する、持続可能な開発に向けた活動や関連することがらについての文章として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 栄養のある食事を子どもたちがとれるように、学校給食を無料で提供するプログラムが実施されている。子どもの健全な発育や就学率の向上だけでなく、地元の食材を用いることで地域の農業振興にもつなげていた。
- ② 清潔で安全な水を容易に得られるように、手押しポンプ付きの深井戸を学校につくっている。それにあわせて、継続して井戸を利用するためのメンテナンス方法について地域住民に指導していた。
- ③ 大都市の過密な住環境を解消するために、郊外の開発が進められている。開発地区では、丘陵地を大規模に造成し、自家用車での移動を中心とした街路網が整備され、特定の世代が集中する集合住宅がつくられていた。
- ④ 地域の生活環境が改善されるように、廃棄物処分場の建設を支援している。適正な廃棄物管理に向けて、汚染防止のための技術指導や現地での収集・運搬のための組織づくりなどが行われていた。

地理A 参考問題例正解

問 題 番 号	設 問		解答番号	正 解
問題例1	A	1	1	5
		2	2	2
		3	3	1
問題例2	1		1	1
	2		2	3
	3		3	2
	4		4	3
	5		5	6
	6		6	3

【地理A（問題例）】

問題のねらい，主に問いたい資質・能力及び小問の概要等

問題例1 問題のねらい

地理情報の活用に関して，複数のスケールや異なる種類の様々な地図を読み取ったり，比較したり，重ね合わせたりしながら地理的事象について考察する力を問う。様々な地図に示された自然環境や社会環境を適切にとらえたり，日常生活と結びついた地図の役割と有用性を考察したりする力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問1	1	(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	自然災害の発生要因と分布についての理解 様々な地図を読み取る技能	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	自然災害の発生件数を示したカルトグラムを読み取り，各自然災害の発生要因を踏まえ，自然災害の空間的な規則性について考察する。
問2	2	(2) 生活圏の諸課題の地理的考察 ア 日常生活と結び付いた地図	日本の中山間地域における課題や対策についての理解 様々な地図を読み取る技能	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	中山間地域の標高や集落が示された地図と多様な主題図を重ね合わせた地理情報から，地域住民の生活課題や対策について考察する。
問3	3		河川の流路変更の要因と自治体間で異なる住民生活についての理解 様々な地図を読み取る技能	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	市境界線が河川をまたいで引かれている地図を題材に，流路変更を伴う河川改修の理由と，異なる自治体間での住民生活の違いを推察する。

問題例 2 問題のねらい

地球的課題のうち，世界の食料，人口，資源・エネルギー，環境問題に関して，地球的及び地域的視野からとらえ，相互の関連性について考察する力を問う。また，地球的課題の解決に向けて，持続可能な開発に向けた活動や関連することがらについて考察する力を問う。学習課題についてグループで調べてまとめ，成果を発表する場面を通して，多面的・多角的に探究し，考察できるように工夫した。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問 1	1	(1) 現代世界の特色と諸課題 の地理的考察 ウ 地球的課題の地理的考察	貧困や飢餓と各指標との関連についての理解 様々な地図を読み取る技能	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	貧困や飢餓と関連のある各指標について，世界全体での国・地域別の階級区分図を読み取り，空間的な規則性や傾向性について考察する。
問 2	2		世界の食料問題についての理解	地理的事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を，理由や根拠に基づいてまとめることができる。	世界の食料問題の実情や解決策について，地域差や要因などに関連付けて考察する。
問 3	3		世界の国別総発電量と再生可能エネルギー発電量についての理解 地理情報を読み取る技能	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	分類された国家群の特性をとらえ，総発電量と総発電量に占める再生可能エネルギーの割合とを関連付けて考察する。
問 4	4		世界の林業や木材利用についての理解 地理情報を読み取る技能	地域的特色について多面的・多角的に考察することができる。	地域別の木材・製材に関する表を読み取り，植生などの自然環境と経済や産業などの社会環境を踏まえて，各地域の特徴について考察する。
問 5	5		開発目標と地球的課題についての理解	地理的事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を，理由や根拠に基づいてまとめることができる。	開発目標とその背景になっている地球的課題との相互関連性について考察する。
問 6	6		地球的課題と持続可能な開発についての理解	地理的な課題について多面的・多角的に考察し，解決策を合理的に構想（選択・判断）することができる。	地球的課題の解決や持続可能な開発に向けた活動について考察する。